

主要産地における令和4年産水稻の生育状況等について 第5報 (令和4年6月24日取り纏め)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (令和4年6月24日)

道府県	区分	生育状況等	生育状況等	(参考)
		育苗・田植進行状況・生育状況等(自治体等公表資料の抜粋)	技術・防除・気象等関連公表資料(自治体、気象台等公表資料の抜粋)	令和4年度の品種構成等の情報
北海道	(生育)	【生育状況(6月15日現在)】 (全道) 各作物の生育は、低温と日照不足により停滞した(特にオホーツク海側で影響が大きかった)ものの、平年並に推移している。(北海道農政部 6月21日付) (空知) 生育は平年並であり、分けつちの発生も順調である。(空知総合振興局 6月21日付) (石狩) 低温で生育は遅延。(石狩振興局 6月21日付) (後志) 遅延は早1日。(後志総合振興局 6月21日付) (胆振) 6月上旬は低温により生育が緩慢となったが、全体的な生育は平年並。(胆振総合振興局 6月21日付) (渡島) 茎数は平年より少ないが、生育は平年並に進んでいる。(渡島総合振興局 6月21日付) (檜山) 生育は概ね平年並で推移。(檜山振興局 6月21日付) (上川) 生育は平年並に推移している。(上川総合振興局 6月21日付) (留萌) 生育は平年並に進んでいる。(留萌振興局 6月21日付) (オホーツク) 低温寡照により、分けつちが遅れている。(オホーツク総合振興局 6月21日付)	【向こう1か月の天候の見通し 6月25日~7月24日】 北海道地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は日本海側で平年並が多く、オホーツク側と太平洋側では、ほぼ平年並の見込み。日照時間は日本海側で平年並が少なく、オホーツク側と太平洋側では、ほぼ平年並の見込み。(気象庁札幌管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し7月~9月】 北海道地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁札幌管区気象台) 【高温に関する早期天候情報】 北海道地方は6月29日頃から、かなりの高温 (気象庁札幌管区気象台)	・「なつぼし」及び「ゆめぴりか」を中心とする品種構成となっており、主要品種に大きな変化はみられない。 (農林水産省 3月16日) (出典資料は以下同じ)
		【6月20日現在の生育状況】 ・「つがるロマン」は草丈が32.5cmで平年より4.1cm短く、株当たりの茎数は15.2本で1.9本少なく、葉数は7.5葉で0.2葉少なかった。 ・「青天の霹靂」は草丈が37.7cmで2.0cm短く、株当たりの茎数は15.6本で0.2本少なく、葉数は7.0葉で0.1葉少なかった。 ・「まっしぐら」は草丈が41.1cmで0.8cm短く、株当たりの茎数は18.0本で0.1本多く、葉数は7.4葉で平年並みであった。 ・「はれわたり」は草丈が38.8cm、株当たりの茎数は17.5本、葉数は7.4葉であった。 (青森県産産技術センター農林総合研究所 6月21日付) (県生育観測所の生育状況) ・生育は、草丈・茎数が平年を下回り、葉数がほぼ平年並となった。(青森県 6月23日付)	【向こう1か月の天候の見通し 6月25日~7月24日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 7月~9月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 【高温に関する早期天候情報】 東北地方は6月29日頃から、かなりの高温 (気象庁仙台管区気象台) 向こう1か月、イネミズゾウムシの発生が「多い」と予想される。 (農林水産省 6月8日付)	・「つがるロマン」及び「まっしぐら」の2品種で割合を占める品種構成で、近年、収量水準の高い「まっしぐら」が増加傾向にあり、令和4年産も同様の傾向になるものと考えられる。
岩手	(生育)	【6月15日現在】 ・6月上旬は気温・日照とも平年を下回ったことから、初期生育は平年に比べ全般に遅れている。 ・生育診断予察園における6月15日現在の生育(県平均)は、草丈28.6cm(平年差-1.8cm)、茎数は198本/m ² (平年比75%)、葉数は6.5葉で平年より0.2葉少ない。 (岩手県 6月16日付)	【向こう1か月の天候の見通し 6月25日~7月24日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 7月~9月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 【高温に関する早期天候情報】 東北地方は6月29日頃から、かなりの高温 (気象庁仙台管区気象台) 向こう1か月、イネミズゾウムシの発生が「多い」と予想される。 (農林水産省 6月8日付)	・「ひとめぼれ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。県のオリジナル品種である「稲河のしずく」が、耐冷性、耐病性に優れていることから増加傾向となっている。
		【6月20日現在】 ・古川農業試験場の「ひとめぼれ」では、草丈は平年比92%、1m ² 当たりの茎数は平年比98%、葉数は平年差-0.2葉となり、概ね平年並で推移している。(宮城県 6月21日付) (仙 台) (移植栽培「ひとめぼれ」) 前調査以降、平均気温が高めに推移したことから、生育は回復傾向にある。(宮城県仙台農業改良普及センター 6月21日付) (栗 原) 「ひとめぼれ」では、草丈は平年を下回り、茎数及び葉数も平年と比較して少なくなったが、葉色は平年並。平年と比較すると生育は遅れている。(宮城県栗原農業改良普及センター 6月22日付) (気仙沼) 管内の生育調査はの茎数は平年並。(宮城県気仙沼農業改良普及センター 6月21日付) (大 河 原) 生育は概ね回復傾向。(宮城県大河原農業改良普及センター 6月21日付) (大 崎) 第4半旬以降は気温・日照時間も平年を上回り生育は前調査より回復傾向。(大崎農業改良普及センター 6月23日付) (美 里) 生育はやや遅れているが回復傾向。(宮城県美里農業改良普及センター 6月21日付)	【向こう1か月の天候の見通し 6月25日~7月24日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 7月~9月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 【高温に関する早期天候情報】 東北地方は6月29日頃から、かなりの高温 (気象庁仙台管区気象台)	・「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっている。
秋 田	(生育)	【6月10日調査】(本田の生育) (移植栽培) ・各地域振興局による定点調査(6月10日)では、「あきたこまち」(64地点)は、草丈24.3cm(平年比95%)、m ² 当たり茎数109本(同69%)、葉数5.9葉(平年差-0.2葉)であった。 ・「ひとめぼれ」(8地点)は、草丈28.3cm(平年比103%)、茎数225本/m ² (同93%)、葉数6.5葉(平年差-0.1葉)であった。 ・「あきたこまち」の定点移植日の平均は、平年より1日早い5月19日となった。茎数は全県で平年より少なく、県南で平年比72%、県北では平年比66%とかなり少なかった。 ・「ひとめぼれ」の定点移植日の平均は、平年より3日早い5月13日で、草丈はやや長く、葉数は平年並からやや少なかった。茎数はひとめぼれにおいても平年より少なかった。 ・6月上旬からの低温の影響により、県全域で初期生育が停滞し、分けつちの発生が抑制され、特に5月下旬以降に移植したほ場での影響が大きくなった。 (秋田県農林水産部)	【向こう1か月の天候の見通し 6月25日~7月24日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 7月~9月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 【高温に関する早期天候情報】 東北地方は6月29日頃から、かなりの高温 (気象庁仙台管区気象台) 向こう1か月、イネミズゾウムシの発生が「多い」と予想される。 (農林水産省 6月8日付)	・「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。
		【6月17日現在】 (鶴岡・田川) ・作柄診断圃の生育は、平年に比べ草丈は短く、茎数はやや少なく、葉数はやや少なく、葉色はやや淡くなっているが、6月上旬の低温寡照の影響から回復しつつある。(庄内総合支庁農業技術普及課 6月20日付) (東 南 村 山) 「つや姫」「雪若丸」 ・草丈：短い・茎数：少ない・葉数：遅れている・葉色：淡い状況。気温の回復により、茎数も増加し始めている。 (村山農業技術普及課 6月23日付)	【向こう1か月の天候の見通し 6月25日~7月24日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 7月~9月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 【高温に関する早期天候情報】 東北地方は6月29日頃から、かなりの高温 (気象庁仙台管区気象台)	・「はえぬき」及び「つや姫」を中心とする品種構成となっている。新品種「雪若丸」は増加傾向にある。
福 島	(生育)	【6月7日調査】 ・農業総合センターの生育調査では、草丈は本部(郡山市)が平年並からやや長く、会津地域研究所(会津坂下町)と浜地域研究所(相馬市)が短くなっている。茎数は、各地域ともやや少ないから少なくなっている。主稈葉数は、本部と浜地域研究所が平年より少なく、会津地域研究所が平年並となっている。 (福島県 6月10日付)	【向こう1か月の天候の見通し 6月25日~7月24日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 7月~9月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 【高温に関する早期天候情報】 東北地方は6月29日頃から、かなりの高温 (気象庁仙台管区気象台)	・「コシヒカリ」及び「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっている。近年、収量水準の高い「天のつぶ」が増加していたが、肥料米への転換が増加していることから比率はやや低下している。
		【6月10日現在、水戸市】 (5月2日移植) ・主稈葉数の展開からみた生育は、「あきたこまち」で平年より3日遅く、「ふくまるS L」で4日遅く、「コシヒカリ」で2日遅い。 (5月10日移植) ・「コシヒカリ」の主稈葉数の展開からみた生育は、平年より1日早かった。 (茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室 6月15日付) 【6月16日現在、龍ヶ崎市】 (4月27日移植) ・主稈葉数の展開からみた生育は、「あきたこまち」「コシヒカリ」で平年並、「ふくまるS L」で平年より1日遅い。 (5月6日移植) ・「コシヒカリ」主稈葉数の展開からみた生育は、平年より2日遅い。 (茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 6月17日付)	【向こう1か月の天候の見通し 6月25日~7月24日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が少なく、日照時間は多い見込み。 (気象庁東京管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 7月~9月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台) 【高温に関する早期天候情報】 関東甲信地方は6月26日頃から、かなりの高温 (気象庁)	・「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成で、近年、多様な多収米への作付け移行が進んでいる。
茨 城	(生育)	【6月10日現在、水戸市】 (5月2日移植) ・主稈葉数の展開からみた生育は、「あきたこまち」で平年より3日遅く、「ふくまるS L」で4日遅く、「コシヒカリ」で2日遅い。 (5月10日移植) ・「コシヒカリ」の主稈葉数の展開からみた生育は、平年より1日早かった。 (茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室 6月15日付) 【6月16日現在、龍ヶ崎市】 (4月27日移植) ・主稈葉数の展開からみた生育は、「あきたこまち」「コシヒカリ」で平年並、「ふくまるS L」で平年より1日遅い。 (5月6日移植) ・「コシヒカリ」主稈葉数の展開からみた生育は、平年より2日遅い。 (茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 6月17日付)	【向こう1か月の天候の見通し 6月25日~7月24日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が少なく、日照時間は多い見込み。 (気象庁東京管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 7月~9月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台) 【高温に関する早期天候情報】 関東甲信地方は6月26日頃から、かなりの高温 (気象庁)	・「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成で、近年、多様な多収米への作付け移行が進んでいる。
		【6月10日現在、水戸市】 (5月2日移植) ・主稈葉数の展開からみた生育は、「あきたこまち」で平年より3日遅く、「ふくまるS L」で4日遅く、「コシヒカリ」で2日遅い。 (5月10日移植) ・「コシヒカリ」の主稈葉数の展開からみた生育は、平年より1日早かった。 (茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室 6月15日付) 【6月16日現在、龍ヶ崎市】 (4月27日移植) ・主稈葉数の展開からみた生育は、「あきたこまち」「コシヒカリ」で平年並、「ふくまるS L」で平年より1日遅い。 (5月6日移植) ・「コシヒカリ」主稈葉数の展開からみた生育は、平年より2日遅い。 (茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 6月17日付)	【向こう1か月の天候の見通し 6月25日~7月24日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が少なく、日照時間は多い見込み。 (気象庁東京管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 7月~9月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台) 【高温に関する早期天候情報】 関東甲信地方は6月26日頃から、かなりの高温 (気象庁)	・「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成で、近年、多様な多収米への作付け移行が進んでいる。

<p>栃 木</p> <p>(生育)</p>	<p>【「コシヒカリ」「とちぎの星」(5月26日調査結果)】</p> <p>・草丈・莖数・葉令・葉色ともおおむね平年並。(栃木県農政部長経営技術課 6月6日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月25日～7月24日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が少なく、日照時間は多い見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】 関東甲信地方は6月26日頃から、かなりの高温 (気象庁)</p> <p>向こう1か月、緑葉枯病の発生が「多い」と予想される。 (農林水産省 6月8日付)</p>	<p>・「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっている。なお、オリジナル品種「とちぎの星」が増加傾向にある。</p>
<p>千 葉</p> <p>(生育)</p>	<p>【6月15日現在】</p> <p>・6月は第2半旬から第3半旬にかけて気温は低く日照時間も少なくなりましたが、「ふさおとめ」「ふさこがね」の幼穂形成期は平年並にむかえている。</p> <p>・4月20日稲え「コシヒカリ」は6月23日頃からは「粒すけ」は6月22日頃からは並となる見込み。</p> <p>・また、草丈はやや短く、葉色は平年並みに推移しており、「ふさおとめ」「ふさこがね」では莖数がやや少なくなっている。</p> <p>・ただし、県北地域の生育量は平年並のところが多く、県南地域に向かうほど平年よりやや少なくなっている。</p> <p>(千葉県 6月17日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月25日～7月24日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が少なく、日照時間は多い見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】 関東甲信地方は6月26日頃から、かなりの高温 (気象庁)</p>	<p>・「コシヒカリ」「ふさこがね」及び「ふさおとめ」を中心とする品種構成となっている。令和2年度から新品種「粒すけ」の本格栽培が開始</p>
<p>新 潟</p> <p>(生育)</p>	<p>【6月20日現在】</p> <p>(新潟田) 莖数が多く葉色が濃いほ場が多く生育過剰が懸念される。出穂期は早まる見込み。 (新潟田普及指導センター 6月21日付)</p> <p>(新 潟) 「コシヒカリ」の生育は指標値に比べ草丈:「短」、莖数:「やや少」、葉数:「遅」 (新潟農業普及指導センター6月20日付)</p> <p>(三 条) 「コシヒカリ」コシヒカリは指標値に比べ草丈や短い、莖数少ない、葉数並、葉色やや濃い」。 (三条農業普及指導センター 6月20日付)</p> <p>(長 岡) 「コシヒカリ」「こしいぶき」莖数が多く、葉色がやや濃い状況。(長岡農業普及指導センター 6月20日付)</p> <p>(上 越) 「コシヒカリ」6月上旬の低温の影響で草丈はやや短く、莖数は並からやや多く、葉数の進みは並で推移している。「こしいぶき」草丈は並、莖数は多く、葉数の進みは並で推移している。(上越農業普及指導センター 6月20日付)</p> <p>(魚 沼) 「コシヒカリ」田植え後30日に達したほ場では、目標莖数に到達し、中干し・溝切りが実施されている。田植え後30日に達していないほ場でも、順調に莖数が増加している。(魚沼農業普及指導センター 6月21日付)</p> <p>(南魚沼) 「コシヒカリ」管内全体 草丈: やや短、莖数: やや少、葉数: 並、葉色: 並 (南魚沼農業普及指導センター 6月20日付)</p> <p>(佐 渡) 「コシヒカリ」田植えの早いほ場等では、すでに過剰生育傾向(※ほ場間差が大きい) (佐渡農業普及指導センター 6月20日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月25日～7月24日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が少なく、日照時間は多い見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】 北陸地方は6月26日頃から、かなりの高温 (気象庁新潟地方気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「こしいぶき」を中心とする品種構成で、近年「コシヒカリ」が減少し、収量水準の高い「ゆきん子舞」「つきあかり」及び「みずほの輝き」が増加傾向にある。また、県では新品種「新之助」(晩生種)の作付拡大を推奨している。</p>
<p>富 山</p> <p>(生育)</p>	<p>【本田での生育状況(6月21日)】</p> <p>「コシヒカリ」: 平年に比べ、草丈はやや短く、莖数は多く、葉色、葉齢は並となっている。 今後、平年並の気温で推移した場合、幼穂形成期は平年並の7月11日頃と見込まれる。</p> <p>「てんたかく」: 平年に比べ、草丈は短く、莖数は多く、葉色は並となっている。 葉齢を揃えて比較すると、平年に比べ、草丈は短く、莖数は多く、葉色は並となっている。 今後、平年並の気温で推移した場合、出穂期は7月17日頃と見込まれる。</p> <p>「てんこもり」: 平年に比べ、草丈は短く、莖数、葉色は並、葉齢は0.2葉遅れている。 葉齢を揃えて比較すると、平年に比べ、草丈は短く、莖数、葉色は並となっている。 今後、平年並の気温で推移した場合、幼穂形成期は平年より1日程度遅い7月13日頃と見込まれる。</p> <p>「富富富」: 近年に比べ、草丈は短く、莖数、葉色、葉齢は並となっている。 今後、近年並の気温で推移した場合、幼穂形成期は近年並の7月13日頃と見込まれる。</p> <p>(富山県 6月22日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月25日～7月24日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が少なく、日照時間は多い見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】 北陸地方は6月26日頃から、かなりの高温 (気象庁新潟地方気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっているもの、近年高温多湿でも品質が安定している「てんこもり」及び「てんたかく」県のトップブランドに位置づけている「富富富」が増加傾向にある。</p>
<p>石 川</p> <p>(生育)</p>	<p>【6月17日調査】【本田の生育】</p> <p>(草丈) 「コシヒカリ」加賀地域、能登地域のいずれも平年に比べ短く、前年に比べて加賀地域は短く、能登地域はやや短い。「ゆめみづほ」加賀地域、能登地域のいずれも平年に比べやや短く、前年に比べて加賀地域は並、能登地域は短い。「ひやくまん穀」加賀地域、能登地域いずれも短く、前年に比べて加賀地域はやや短く、能登地域は短い。</p> <p>(莖数) 「コシヒカリ」加賀地域は平年及び前年並、能登地域は平年に比べやや少く前年に比べやや多い。「ゆめみづほ」加賀地域、能登地域のいずれも平年並だが、前年に比べて加賀地域はやや多く、能登地域は並となっている。「ひやくまん穀」加賀地域、能登地域いずれも近年並で、前年に比べて加賀地域ではやや多く、能登地域では少ない。</p> <p>(葉齢) 「コシヒカリ」平年に比べ加賀地域で並、能登地域で2日程度遅い。「ゆめみづほ」平年に比べ加賀地域で並、能登地域は4日程度遅い。「ひやくまん穀」加賀地域では近年に比べ2日、前年に比べ1日程度遅く、能登地域で近年並、前年に比べ2日程度遅い。</p> <p>(石川県農林総合研究センター 6月21日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月25日～7月24日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が少なく、日照時間は多い見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】 北陸地方は6月26日頃から、かなりの高温 (気象庁新潟地方気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「ゆめみづほ」を中心とする品種構成であるが、近年、県オリジナル新品種の「ひやくまん穀」が増加傾向にある。</p>
<p>福 井</p> <p>(生育)</p>	<p>・連休移植や直播では、多くの圃場で有効莖数に達している。 (福井県 6月17日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月25日～7月24日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が少なく、日照時間は多い見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】 北陸地方は6月26日頃から、かなりの高温 (気象庁新潟地方気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「ハナエチゼン」を中心とする品種構成である。なお、新品種である「いちほまれ」が増加傾向にある。</p>
<p>長 野</p> <p>(生育)</p>	<p>(須坂市八重森の農業試験場における水稲生育状況) ・移植後20日の生育は、全体的に草丈はやや短く、主稈葉数がやや遅れている。 移植時の苗の草丈、葉数が例年よりやや遅れていたことが影響したと思われる。莖数は平年並みである。</p> <p>(原村試験場における水稲生育状況) ・移植後20日の生育は、いずれの品種も草丈は平年並みだが、主稈葉数、莖数は遅れている。 育苗期間から6月上旬まで低温傾向で推移したことから、移植時の平均葉数が例年より少なく(いずれの品種も平均3.0葉)、その後の生育も緩慢に推移したと思われる。</p> <p>(長野県農業試験場 6月15日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月25日～7月24日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が少なく、日照時間は多い見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】 関東甲信地方は6月26日頃から、かなりの高温 (気象庁)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成に大きな変化はない。県のオリジナル品種「風さやか」の導入を推進している。</p>
<p>滋 賀</p> <p>(生育)</p>	<p>【農業技術振興センター 水稲作況調査(5月31日時点)】</p> <p>・草丈は「みずかがみ」は平年よりやや低く、「コシヒカリ」は平年並であった。 ・莖数は、「みずかがみ」は平年並、「コシヒカリ」は平年より多かった。 ・移植後の気温は平年より高く、日照時間も多かったことから両品種とも主稈葉数の展開は平年より早かった。</p> <p>(滋賀県農業技術振興センター 6月9日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月25日～7月24日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が少なく、日照時間は多い見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】 近畿地方は6月29日頃から、かなりの高温 (気象庁大阪管区気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」、「キヌヒカリ」、「日本晴」及び「みずかがみ」を中心とする品種構成である。近年、高温多湿性に優れた「みずかがみ」の作付が推進されている。</p>

兵庫	<p>(6月1日現在)</p> <p>(県北) 移植後、気温の高低差が大きいものの、本田での生育は順調である。</p> <p>(生育) (県南) 現在、苗の生育は順調である。 (兵庫県 6月6日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月25日～7月24日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か少なく、日照時間は多い見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】 近畿地方は6月29日頃から、かなりの高温 (気象庁大阪管区気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」「ヒノヒカリ」「キヌヒカリ」及び「山田錦」を中心とする品種構成である。「きぬむすめ」の作付拡大を推進している。</p>
岡山	<p>・中北部地帯の田植時期、生育概況は概ね平年並である。 (岡山県病害虫防除所 5月25日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月25日～7月24日】 中国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か少なく、日照時間は多い見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 中国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】 中国地方は6月29日頃から、かなりの高温 (気象庁広島地方気象台)</p>	<p>・「アケボノ」、「ヒノヒカリ」、「あきたこまち」、「コシヒカリ」及び「きぬむすめ」を中心とする品種構成である。近年、「きぬむすめ」が増加傾向となっている。</p>
広島		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月25日～7月24日】 中国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か少なく、日照時間は多い見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 中国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】 中国地方は6月29日頃から、かなりの高温 (気象庁広島地方気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」、「あきたこまち」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。</p>
愛媛		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月25日～7月24日】 四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か少なく、日照時間は多い見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 四国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】 四国地方は6月29日頃から、かなりの高温 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>向こう1か月、いもち病発生が「多い」と予想される。 (農林水産省 6月8日付)</p>	<p>・「ヒノヒカリ」「コシヒカリ」「あきたこまち」及び「にこまる」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「ヒノヒカリ」から「にこまる」への品種変更が定着してきている。</p>
高知	<p>【早期稲(分けつ期)】 ・気温はやや低いものの、好天に恵まれ、生育は概ね順調に経過している。</p> <p>【普通期稲(育苗期～活着期)】 ・移植後、天候は概ね安定しており初期生育は良好で、草丈は平年並み、茎数はやや多い。 ・一部地域では、5月中旬～6月上旬植えで、水不足の影響により田植が遅れていたが、6月5～6日の降雨により概ね解消している。 (高知県病害虫防除所5月報 6月7日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月25日～7月24日】 四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か少なく、日照時間は多い見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 四国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】 四国地方は6月29日頃から、かなりの高温 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>向こう1か月、いもち病発生が「多い」と予想される。 (農林水産省 6月8日付)</p>	<p>・早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。</p>
福岡	<p>【6月15日現在】</p> <p>【早期水稲(夢つくし、コシヒカリ)】 ・田植後、天候は概ね安定しており初期生育は良好で、草丈は平年並み、茎数はやや多い。 ・スクミリンゴガイによる食害は一部で認められるが少ない。ウンカ類の発生はほ場では確認していない。</p> <p>【普通期水稲(夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリなど)】 ・育苗期の天候は概ね安定しており、生育は良好で病害の発生は少ない。 ・一部地域では、5月中旬～6月上旬植えで、水不足の影響により田植が遅れていたが、6月5～6日の降雨により概ね解消している。 (福岡県農業総合試験場 6月15日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月25日～7月24日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か少なく、日照時間は多い見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 九州北部地方の3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p>	<p>・「ヒノヒカリ」「夢つくし」及び「元気つくし」を中心とする品種構成であるが、「ヒノヒカリ」が増加傾向となっており、「元気つくし」が増加傾向となっている。なお、県では今後新品種「夢つくし」の作付拡大を推奨している。</p>
熊本		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月25日～7月24日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か少なく、日照時間は多い見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 九州北部地方の3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p>	<p>・「ヒノヒカリ」「森のくまさん」及び「コシヒカリ」を中心とする品種構成である。「くまさんの輝き」はリーディング品種として取扱いが年々拡大している。</p>
宮崎	<p>【作物の生育状況(5月中旬)】</p> <p>(生育) 早期水稲は分けつ期(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 5月24日)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月25日～7月24日】 九州南部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か少なく、日照時間は多い見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 九州南部地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「みさ358」への作付誘導が進められている。</p>
鹿児島		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月25日～7月24日】 九州南部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か少なく、日照時間は多い見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 九州南部地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<p>・早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。早期栽培では、収量水準の高い「なつほのか」への移行が急速に進んでいる。</p>

注1：国及び地方自治体、出先機関等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。
注2：令和4年6月24日 12時時点での取り纏め。
注3：更新箇所は赤字で示した。

引用資料:

農作物の生育状況 6月15日現在(北海道農政部 6月21日)、
農作物生育状況 6月15日現在(北海道空知総合振興局 6月21日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道石狩振興局 6月21日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道後志総合振興局 6月21日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道胆振総合振興局 6月21日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道渡島総合振興局 6月21日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道檜山振興局 6月21日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道上川総合振興局 6月21日)、
農作物生育状況調査の概要 6月15日現在(北海道留萌振興局 6月21日)、
農作物の生育と農作業の進捗状況 6月15日現在(北海道オホーツク総合振興局 6月21日)、
稲作生産情報第4号(青森県1攻めの農林水産業推進本部 6月23日)、
水稲作況調査報告(6月20日現在の生育状況)(地独)青森県産業技術センター農林総合研究所 6月21日)
令和4年度 岩手県内の水稲の生育概況(6月15日現在 速報)(岩手県農業普及技術課 6月16日)、
令和4年度水稲の生育状況について(6月20日現在)(宮城県 6月21日)
仙台北作情報2022(第3号)(宮城県仙台農業改良普及センター 6月21日)、
仙南稲作情報(第2号)(宮城県大河原農業改良普及センター 6月21日)、
大崎稲作情報第4号(大崎農業改良普及センター 6月23日)、
令和4年度美里地区の稲作情報第4号(宮城県美里農業改良普及センター 6月21日)、
栗原の稲作通信令和4年第3号(宮城県栗原農業改良普及センター 6月22日)、
令和4年度気仙沼・南三陸稲作情報第5号(宮城県気仙沼農業改良普及センター 6月21日)、
作況ニュース第3号(秋田県 6月15日)、
稲作だより第6号(村山総合支庁北村山農業技術普及課 6月10日)、
令和4年度第1号東南おきたま雪若丸だより(置賜農業技術普及課 6月14日)、
つや姫雪若丸通信第2号(村山農業技術普及課 6月23日)、
おいしい米づくり情報第8号(庄内総合支庁農業技術普及課 6月20日)、
主要な農作物の生育情報令和4年度第3号(福島県農林水産部 6月10日)、
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所 6月15日)、
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所 6月17日)、
令和4(2022)年度水稲生育診断予測事業速報No.1(栃木県 6月9日)、
水稲の生育と当面の対策第3報(千葉県農林水産部 6月17日)、
R4岩船米生育速報(6月14日現在)(村上農業普及指導センター 6月14日)、
令和4年度新発田地域水稲生育速報No.3(新発田農業普及指導センター 6月21日)、
稲作速報No.4(新潟農業普及指導センター 6月20日)、
FAX稲作情報No.5(三条農業普及指導センター 6月20日)、
コンヒカリ生育情報第3号(魚沼農業改良普及センター 6月21日付)、
稲作情報No.4(長岡農業普及指導センター 6月20日)、
南魚沼産コンヒカリ生育速報No.3(6月20日調査)(南魚沼農業普及指導センター 6月20日)、
コンヒカリ・こしいぶき生育速報No.3(6月20日)(上越農業普及指導センター)、
令和4年度稲作生育速報No.3(佐渡農業普及指導センター 6月20日)、
TACS情報第4号(富山県 6月21日)、
令和4年度水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-4号)(石川県農林総合研究センター 6月23日)、
稲作情報No.5(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月17日)、
農業試験場水稲試験圃の生育状況(令和4年度)(長野県農業試験場 6月15日)、
水稲高標高試験圃の生育状況(令和4年度)(長野県農業試験場 6月15日)、
令和4年度水稲生育診断情報No.1(滋賀県農業技術振興センター 6月9日)、
令和4年度兵庫県農業気象技術情報No.2(6月情報)(兵庫県 6月6日)、
令和4年度病害虫発生予報第3号(岡山県 5月25日)、
病害虫発生予報情報について(高知県病害虫防除所 6月7日)、
福岡県の主な農産物の生産状況(専技情報より抜粋)(福岡県農林業総合試験場 6月15日現在)、
令和4年度病害虫発生予報第2号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 5月24日)、

北海道地方こう1か月の天候の見通し(6月23日札幌管区気象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(6月23日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(6月23日気象庁)、
北陸地方こう1か月の天候の見通し(6月23日新潟地方気象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(6月23日大阪管区気象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(6月23日日広島地方気象台)、
四国地方こう1か月の天候の見通し(6月23日高松地方気象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(6月23日福岡管区気象台)、
九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(6月23日鹿児島地方気象台)、

北海道地方こう3か月の天候の見通し(6月21日札幌管区気象台)、東北地方こう3か月の天候の見通し(6月21日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう3か月の天候の見通し(6月21日気象庁)、
北陸地方こう3か月の天候の見通し(6月21日新潟地方気象台)、近畿地方こう3か月の天候の見通し(6月21日大阪管区気象台)、中国地方こう3か月の天候の見通し(6月21日広島地方気象台)、
四国地方こう3か月の天候の見通し(6月21日高松地方気象台)、九州北部地方こう3か月の天候の見通し(6月21日福岡管区気象台)、
九州南部・奄美地方こう3か月の天候の見通し(6月21日鹿児島地方気象台)、

高温に関する早期天候情報(北海道地方)(6月23日札幌管区気象台)、高温に関する早期天候情報(東北地方)(6月23日仙台管区気象台)、高温に関する早期天候情報(関東甲信地方)(6月20日)、
高温に関する早期天候情報(北陸地方)(6月20日新潟地方気象台)、高温に関する早期天候情報(近畿地方)(6月23日大阪管区気象台)、高温に関する早期天候情報(中国地方)(6月23日広島地方気象台)、
高温に関する早期天候情報(四国地方)(6月23日高松地方気象台)、

令和4年度 病害虫発生予報第3号(農林水産省 6月8日)、
令和4年度水稲の10a当たり平均収量に係る生産事情(都道府県別)(農林水産省 3月16日)